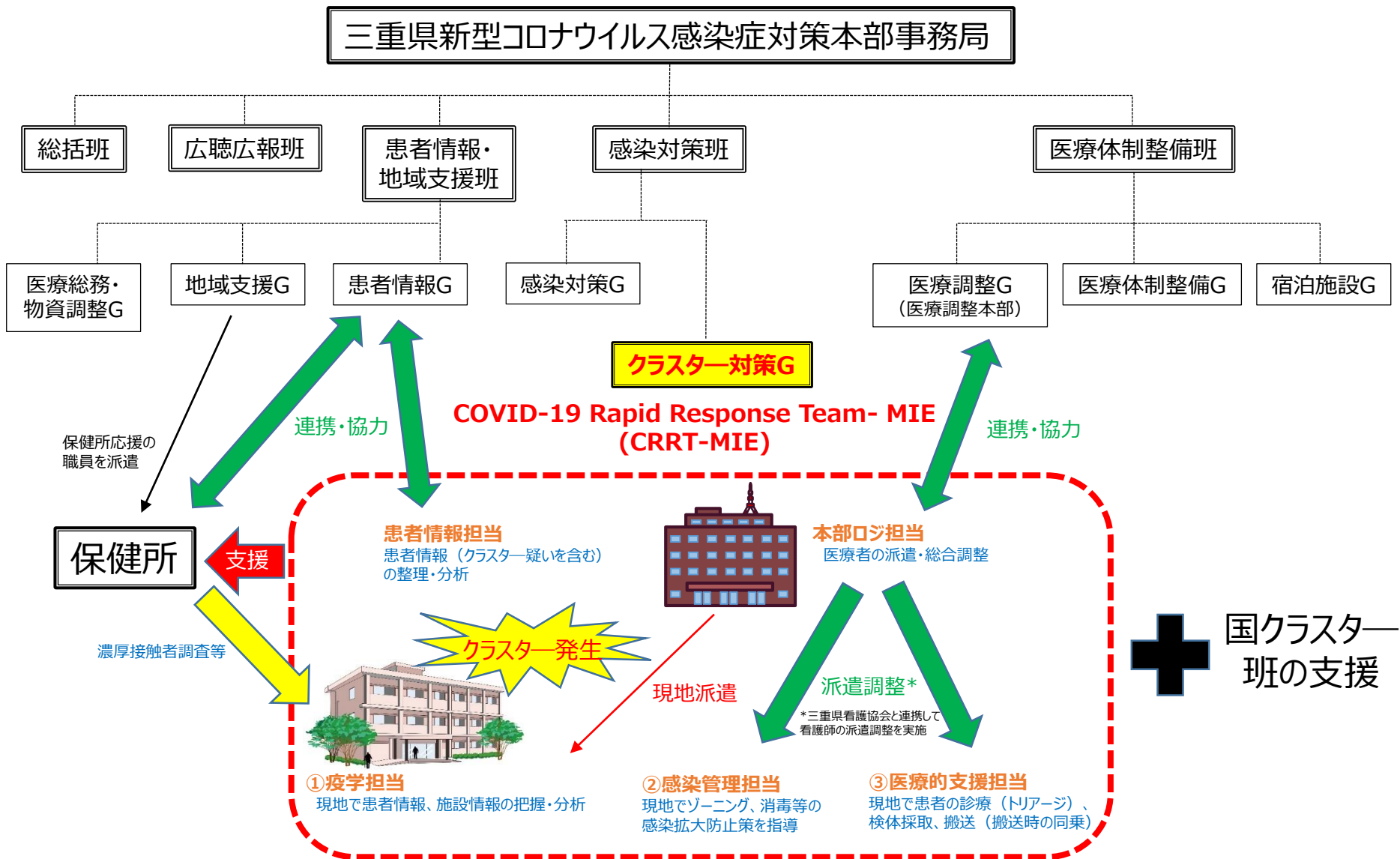


# COVID-19 Rapid Response Team- MIE (CRRT-MIE)

入所施設・病院等で大規模なクラスターが発生した際、迅速に対応できるよう、県対策本部事務局クラスター対策Gに外部の専門家を交え結成した即時対応チーム (Rapid Response Team)



大きく「疫学調査」「感染管理」「医療的支援」の3つのカテゴリーがあるが、クラスター毎に課題は異なるため、その都度起こった課題に対し迅速に支援

# クラスター対策グループの活動状況

2020年10月7日時点

## クラスター対応事例：5事例

クラスター	感染者数	主な対応
①大学	24名（学生23名、教員1名）	対策本部の設置 保健所・大学・国と連携
②診療所	8名（職員5名、患者3名）	接触者調査、報道対応支援
③特別養護老人ホーム	20名（職員1名、入所者19名）	①入院調整・患者搬送 ②接触者調査・検体採取 ③施設消毒・感染管理 ④施設の運営支援
④医療機関	69名（職員14名、入院患者55名）	
⑤通所介護事業所	14名（職員4名、利用者10名）	

## 非クラスター事例：3事例

個別事例	感染者数	主な対応
①医療機関 A	4名（職員3名、入院患者1名）	対策会議参加、リスク評価
②医療機関 B	4名（職員3名、入院患者1名）	
③特別養護老人ホーム	1名（職員）	検体採取、接触者調査
④高等学校	1名（生徒）	疫学調査、リスク評価支援

# 高齢者施設におけるクラスター事例への対応

## ■ 概要

- ・ 特別養護老人ホームで発生したクラスター
- ・ 施設入所者を中心に感染が拡大

## ■ 積極的疫学調査

- ・ 職員:76名に検査し全員陰性  
(当初判明した職員1名を除く)
- ・ 施設入所者:90名中、**19名が陽性**
- ※ 計20名の陽性が確認されているものの、施設職員、施設入所者のいずれも同一エリアに関連

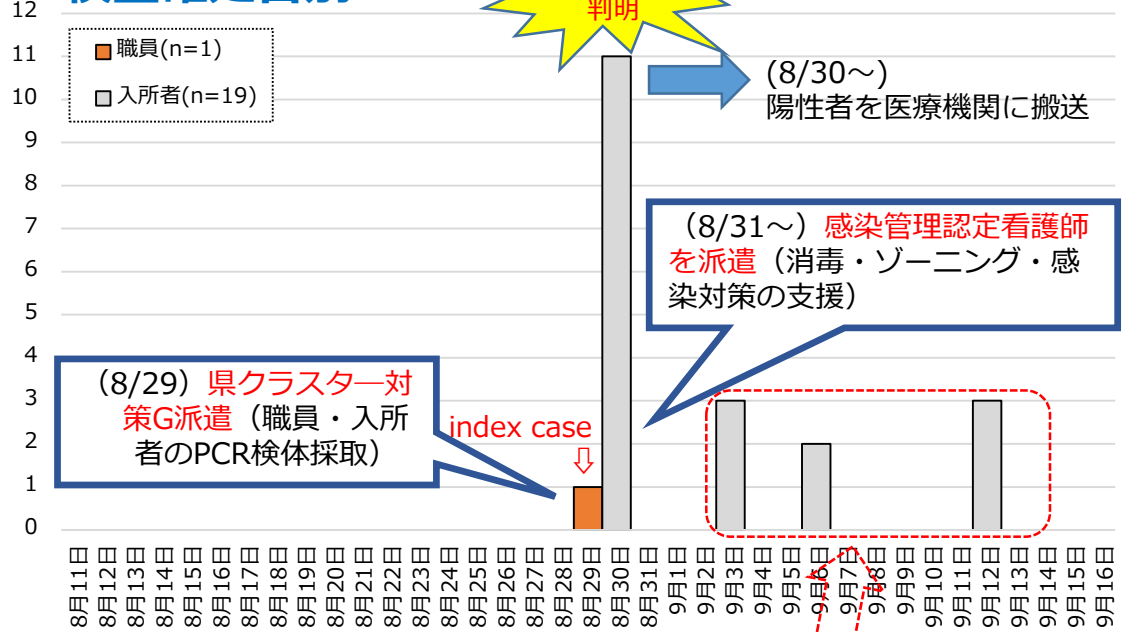
## ■ 対応

- ・ 県クラスター対策Gを施設へ派遣（検体採取、対応方針決定を支援）
- ・ 県内医療機関の感染管理認定看護師（計2名）を施設へ派遣（消毒・ゾーニング・感染対策を支援）
- ・ 陽性となった入所者は全員、医療機関へ入院し治療を行った
- ・ **初期スクリーニングで11名の陽性が判明。**一度PCR検査が陰性であっても、後に発熱等の症状がある方は**再検査**する方針で、**8名の陽性が判明。**

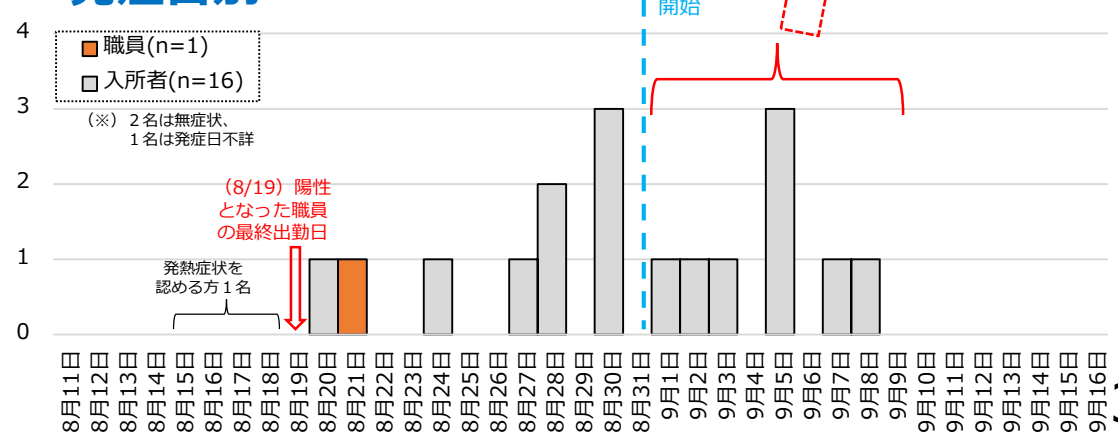
## ■ 考察

- ・ 入所者の多くは、もともと持病があり発熱等の症状を認める方が多く、発症日の確定は困難であるが、**職員1名の陽性が判明時に施設内で一定程度、感染が広がっていた可能性**が示唆された。
- ・ 入所施設は多くの方が同一空間で過ごすため、クラスターが発生しやすい環境であり注意が必要。

## 検査確定日別



## 発症日別



# 医療機関におけるクラスター事例への対応

## ■ 概要

- ・入院病棟で発生したクラスター
- ・病院職員等・入院患者を中心に感染が拡大

## ■ 積極的疫学調査

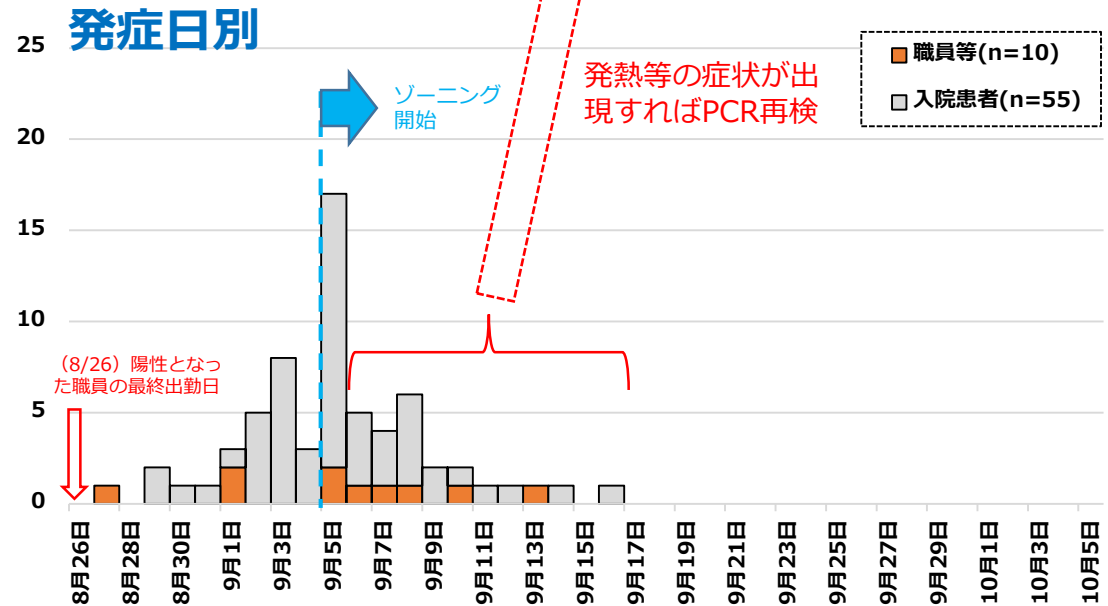
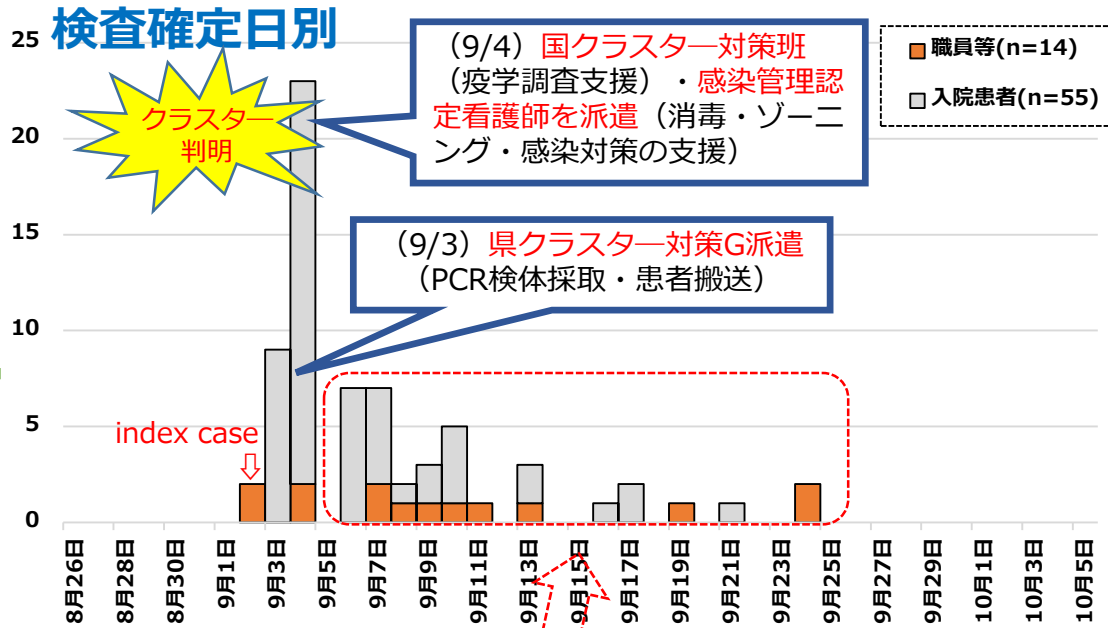
- ・職員等:97名中、**12名が陽性**  
(当初判明した職員2名を除く)
- ・入院患者:107名中、**55名が陽性**
- ※ 計69名の陽性が確認されているものの、職員等・入院患者とも同一病棟に関連している(当初判明した職員1名を除く。患者1名は他病棟に入院中であったが、感染可能期間に当該病棟に入院歴あり)

## ■ 対応

- ・**県クラスター対策G・県庁職員**を施設へ派遣(検体採取、消毒、患者搬送、対応方針決定を支援)
- ・**県内医療機関の医師(2名)、感染管理認定看護師(6名)**(消毒・ゾーニング・感染対策を支援)を施設へ派遣
- ・**国のクラスター班(2名)**に支援を要請(疫学調査を支援)
- ・陽性となった入院患者は、新型コロナウイルス感染症の病状や基礎疾患の状態を踏まえ、必要な方は他病院へ転院し治療を継続
- ・一度PCR検査が陰性であっても、**後に発熱等の症状がある方は再検査**。他病棟入院患者や職員についても症状があればPCR検査を実施。

## ■ 考察

- ・濃厚接触者となった当該病棟の看護職員を自宅待機とするにあたり、**院内他病棟・県内医療機関から看護師が支援**に入った。
- ・入院患者は多くの方が同一空間で過ごすため、**クラスターが発生しやすい環境**であり注意が必要。



# 急性期（クラスター発生数日間）の主な対応例

## 1. 支援1日目の対応（施設内で陽性者判明時）

- 県クラスターGと保健所とで方針を相談
  - ⇒ 施設内での拡がりを見るため、職員、利用者のPCRの検体採取

## 2. 支援2日目の対応（施設内で陽性者が複数判明）

- 以下の4グループに分け対応
  - ① **陽性者の入院調整・搬送**
    - トリアージ（SpO2・体温・基礎疾患）
    - 県調整本部、保健所と入院先の調整
    - 紹介状（施設・医療機関に依頼）
    - 搬送方法・人員確保（消防へも依頼）
  - ② **追加PCR検査**
    - スタッフ、他の入所・入院患者
  - ③ **消毒・ゾーニング・感染管理**
    - 感染管理認定看護師の派遣要請・県看護協会と調整し人員確保
  - ④ **施設の運営継続**
    - 陽性者と接触のある職員の対応について協議
      - 職員が多数自宅待機となるなど、施設の運営が困難となる際には、応援対策を検討

## 3. 支援3日目以降の対応

- ① **陽性者の入院調整・搬送**
- ③ **消毒・ゾーニング・感染管理**
  - 県庁・保健所・施設関係者総出で消毒・ゾーニングを実施
  - 感染管理認定看護師による職員への感染対策教育の実施

## 亜急性期の課題

① **施設運営継続**  
（スタッフの確保）

② **感染対策の継続**  
（スタッフの感染対策教育）

③ **回復者の受け入れ体制**

④ **スタッフへの支援**  
**メンタルケア**